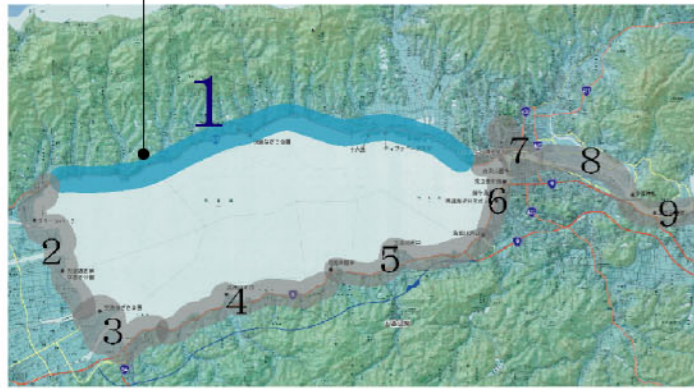


参 考 資 料  
(水辺特性)

# 1 移りゆく景色を楽しむ水辺

■キーワード：山の起伏、移り変わり

【松江しんじ湖温泉入り口～鹿園寺灘付近】



自然豊かな西岸から、松江市街地をつなぐ架け橋であり、集落、田園、山地が陰影を作り、自然から都市への移り変わりを演出する。迫り来る山並み、広がる田園、点在する集落をきらめく湖面が彩る風景。起伏に富んだ道路が様々な水辺の表情を演出する。

秋鹿なぎさ公園などの点在する親水空間では、ゆっくりと心ゆくまで水辺に触れることができる。

湖岸と道路の間の限られた空間をヨシなどで植栽し、宍道湖の水辺景観を印象づけ、サイクリングを楽しむ人々が、移動の合間にちょっと立ち止まりたくなるような魅力的な水辺を創造する。

また、宍道湖西岸・南岸からの眺めに配慮し、背後の緩やかな山並みと調和した水辺とする。

## 自然

- 湖面と緑が交互に現れ、自然を感じることができる。
- 西部では山並みが湖岸まで迫っている。
- ところどころ湖岸と道路の間にヨシや樹が生えている。
- 東部では田園が広がっており、冬には白鳥が飛来してくる。
- 十六禿と呼ばれる岩肌があらわになった絶壁の自然景観が目を引く。
- 水際に接することができる空間が点在しており、宍道湖の自然を楽しむことができる。
- 冬には鳥類が湖岸に分布する



## 水辺の利用

- 西部の湖面と山に挟まれた集落では、生活の一部として水辺を利用している。
- 殆どが通過交通として利用。
- 秋鹿なぎさ公園ではヨットなどのマリンスポーツや水辺の散策等が行われ、ティファニー美術館前では、遊歩道がたまり場となり、宍道湖の景観を楽しんでいる。



## 土地利用

- 松江市街地近郊の田園集落・漁村集落として人口や施設の集積がみられる。
- 西部では、秋鹿なぎさ公園・フォーゲルパークなどスポット的な利用がみられるものの、多くは谷間から続く湖岸に農村・漁村集落が点在している。
- 西部の道路は殆どが湖岸を走る。



## 景観

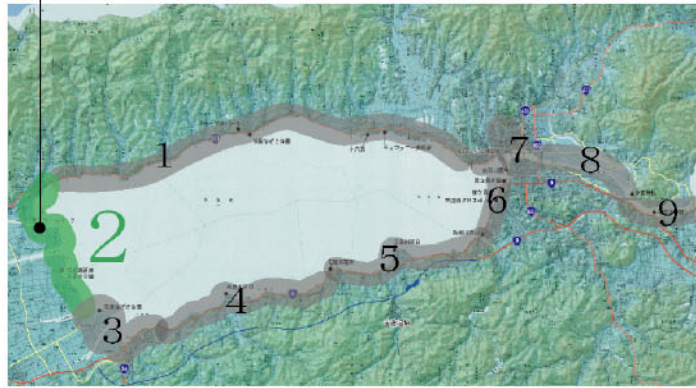
- 宍道湖の水際を走り、野鳥や湖面に映る光など、自然の景観を楽しむ水辺。
- 「宍道湖水辺八景」の内、「冬の十六禿」と「秋の満願寺灘」がある。
- 西岸・南岸からは緩やかな山並みと湖面の調和した良好な景観となっている。



## 2 自然と人がふれあう水辺

■キーワード：自然とのふれあい

【鹿園寺灘付近～五右衛門川】



砂浜やヨシ帯が再生された湖岸は、鳥をはじめとする生き物たちのえさ場、休憩場を提供し、魚介類の産卵場にもなっている。背後に広がる農地とともに、多くの生き物たちが集う生態系豊かな貴重な空間となっている。

広大な農地と点在する築地松のある民家が簸川平野特有の景観を形成している。

浅く穏やかな水辺では、安心して水辺に入り、自然とふれあえる場となっており、環境学習の場としても利用されている。

自然にふれあうことができる水辺として位置づけ、砂浜やヨシ帯の再生、水辺環境の保全に取り組んでいくとともに、さらなる利用促進を図っていく。

### 水辺の利用

- 豊かな自然の中で、散歩、野鳥観察、憩い、いやしなど自然と触れあう空間として利用されている。
- 周辺の限られた地域からの利用がほとんどである。
- 宍道湖グリーンパーク周辺では、環境学習の場としての利用もされている。
- 子どもたちは宍道湖に入って、水に親しんでいる。



### 土地利用

- 湖岸に砂浜、ヨシ帯が再生され、多自然型の護岸整備がされている。
- 広大な農地が広がっており、その中に集落が点在。



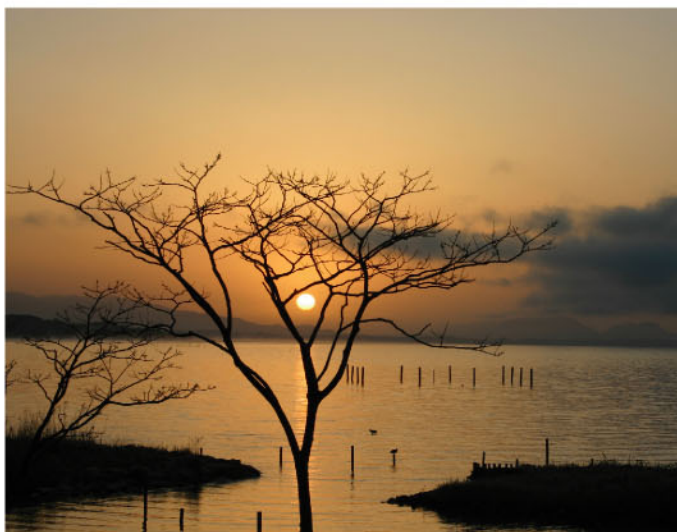
### 景観

- 広大な平野と野鳥など自然を感じる景観。
- 湖岸に再生された砂浜やヨシ植生は、自然を感じさせる景観。
- 天候によっては、対岸の松江市街地を望むこともできる。
- 宍道湖水辺八景の内、「グリーンパークの夏」がある。
- 北岸からは簸川平野と背後に三瓶山を望む。



### 自然

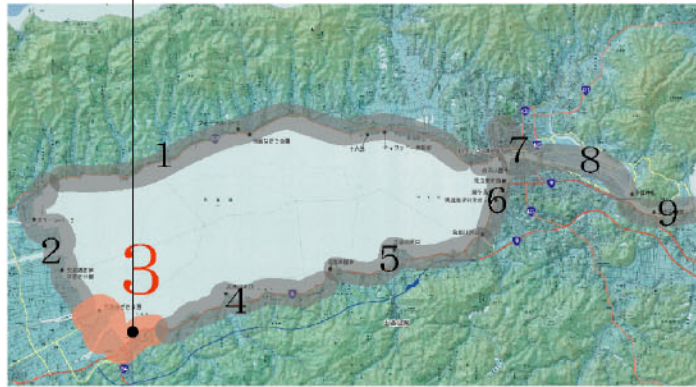
- 広大な農地が広がり、鳥のえさ場となっている。
- 湖岸に再生されたヨシと砂浜が豊かな生態系を育んでいる。



### 3 宍道湖の香り漂う誘いの水辺

■キーワード：玄関口

【五右衛門川～宍道中学校付近】



国道9号と国道54号の交差点に位置し、出雲空港や山陰道宍道インターを有する交通の要衝となっている。空から、また、広島や島根県西部から訪れる人々が宍道湖に初めて接する場所である。

宍道湖への西の玄関口として位置づけ、砂浜やヨシ帯を再生し、宍道湖の自然景観を印象づけるとともに、水辺にふれあえる場としてにぎわいを創出するなど、訪れた人が宍道湖に対する期待で胸をふくらませ、湖岸に寄ってみたいくなるような気持ちにさせる水辺とする。

#### 土地利用

- 出雲空港があり、地域の空の玄関口として広く利用されている。
- 国道9号と国道54号の結節点から西側は、商工混在の施設が並ぶ。



#### 自然

- 西岸に農地が広がっている。



#### 水辺の利用

- 宍道支所前の水際には、釣りを楽しんでいる。



#### 景観

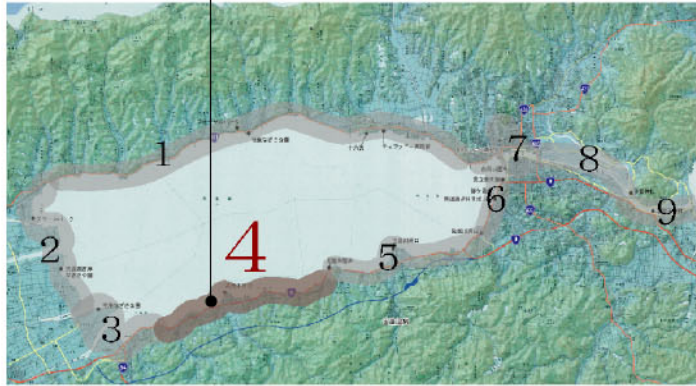
- 西の玄関口として初めて宍道湖を望む景観。
- 湖岸に再生された砂浜やヨシ植生は、自然を感じさせる景観。
- 宍道湖水辺八景の内、「亀のいる風景」がある。
- 北岸からは簸川平野と背後に三瓶山を望む。



## 4 車窓より自然と人の営みを楽しむ水辺

■キーワード：生活、車窓

【穴道中学校付近～鳥ヶ崎付近】



湖岸と道路の間に存在する空間は商工業的な利用がされ、湖岸に近づける空間が少ない。建物等の合間からのぞく湖面や、国道9号が湖岸沿いを走るところでは、砂浜やヨシ帯、水鳥や湖面など穴道湖の景観を楽しめる。また、舟だまりやシジミ漁等、人の営みを感じる空間が続いている。地域に住む人々にとっては生活の中の潤いの水辺、移動する人々にとっては時折見える穴道湖の景観を楽しむ水辺として魅力を高めていく。

### 土地利用

- 穴道・来待は、生活の場として、商・工・住・農・漁混在の土地利用。
- 時折、湖岸を走る鉄道や道路からはヨシ植生や砂浜がみられる。
- 湖岸と道路の間に比較的大きな空間が点在し、湖岸近くまで接することができる。



### 自然

- 来待、穴道では、シジミ漁等自然の恩恵を受けた営みを感じられる。
- 冬には鳥類が湖岸に分布する。
- 湖岸にヨシが分布している。



### 水辺の利用

- 西部では、商業・工業・農家・漁業・住宅が混在し、生活を営む場として広く利用されている。
- 鉄道や車の車窓から時折覗く湖面を見ながら移動している。
- 殆どが通過交通として利用。



### 景観

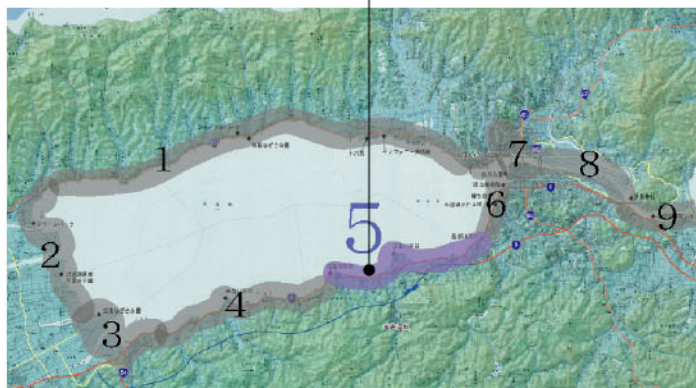
- 道路と湖岸が離れている静かな所も多く、車窓から時折見える水面は、水辺に生きる人々の営みを感じる景観。
- 北岸からは山並みを望む。



## 5 旅情を深める趣ある水辺

■キーワード：旅情、いやし

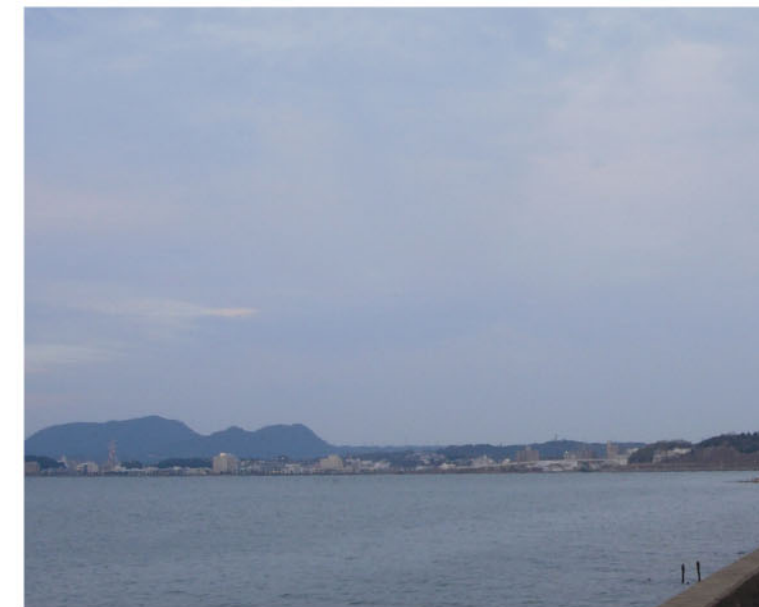
【鳥ヶ崎付近～忌部川河口】



年間約70万人の観光客が訪れる玉造温泉を抱える区間である。松江の市街地からほど近い場所にあり、宍道湖越しに松江の街並みが見渡せる。玉造温泉に近い玉湯川河口と鳥ヶ先には、宍道湖の水辺に触れ、宍道湖の様々な風景を楽しむことができるまとまった空間が存在する。玉造温泉の宿泊客が、宍道湖の夕日、松江の夜景、朝のシジミ漁といった風景を眺めて旅情を深める。また、周辺に住む人々が、都会の喧噪から離れ、宍道湖の水辺で安らぐことができる。宍道湖の豊かな自然と景観を保全しつつ、観光客、地域住民が憩い、水に親しむことができる水辺とする。

### 土地利用

- 玉造温泉を中心としたエリアから旧国民宿舎にかけては、人口も多く商工施設もみられる。
- 玉湯川河口付近の集落以外は、道路が水際を走る。
- 松江の街並みを望みながら移動できる。



### 景観

- 玉湯付近から松江市街地や美しい夜景の全景を望める。
- 宍道湖水辺八景の内、「春の玉湯湖畔」がある。
- 北岸からは山並みを望む。



### 自然

- 玉湯川河口付近では、シジミ漁等自然の恩恵を受けた営みを感じられる。
- 冬には鳥類が湖岸に分布する。
- 湖岸にヨシが分布している。



### 水辺の利用

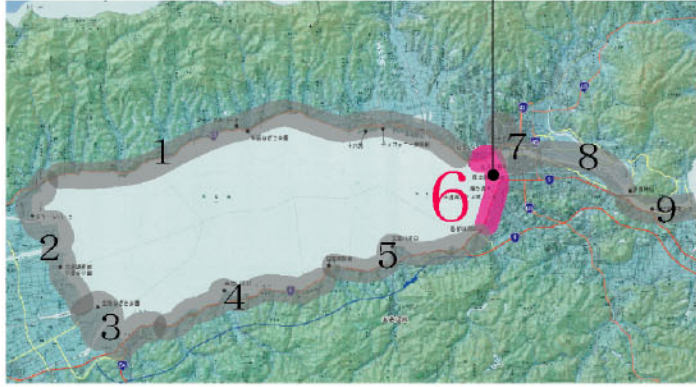
- 玉造温泉玄関口。湖岸の殆どは、観光地までの移動ルートとして利用されている。
- 鉄道や車の車窓から時折覗く湖面を見ながら移動している。



## 6 宍道湖の夕日を愛でる水辺

■キーワード：夕日

【忌部川河口～松江しんじ湖温泉】



小泉八雲をはじめに、多くの文豪が愛した宍道湖の夕日。この夕日を最も美しく望める場所がこの区間である。

連続した水辺の親水空間は、末次公園、白潟公園、県立美術館前、夕日スポットと続く、都市の中の憩いの水辺として整備され、広く利用されている。

朝霧や夜景、夏の花火に秋のハゼ釣りなど、時刻・四季折々に様々な表情を見せるこの水辺は、市民のみならず、国際文化観光都市松江を訪れる観光客をも魅了して止まない。観光地としての魅力をますます高めるなど観光利用を意識するとともに、散策や夕日を見て明日への活力を充てんするなど各人が思い思いの時間が過ごせる、街の中のオアシス的な水辺とする。

### 土地利用

- 人口・事業所・公共施設が集積し、都市的土地利用がみられる。
- 道路は湖岸を走るところが多い。
- 都市の憩いの場として、良好な親水空間が整備されている。



### 景観

- 宍道湖の夕日を最も美しく望むスポットなど、宍道湖と夕日の景観を楽しむ水辺。
- 市街地の夜景を楽しめる水辺
- 宍道湖のシジミ漁、朝霧、朝日など、天候や時間によって作りだされる景観を楽しめる水辺。
- 宍道湖水辺八景の内、「嫁ヶ島残照」と「美術館のある水辺」がある。
- 宍道湖対岸から宍道湖と市街地が調和した良好な景観となっている。



### 自然

- 都市の中において、夕日・水鳥・湖面といった自然を楽しむことができる。
- 護岸は、マツ植栽、親水空間、芝生広場、ベンチといった環境整備がおこなわれ、都市の中に上手く水辺が取り込まれ利用されている。
- 水際に接することができる空間が続いており、宍道湖の自然を感じることが出来る。



### 水辺の利用

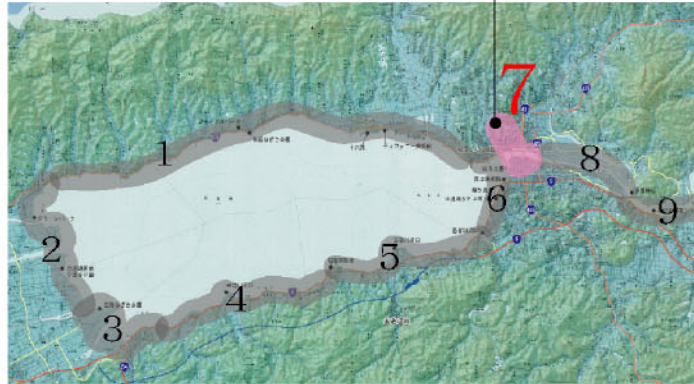
- 連続する親水空間は、ジョギング・釣り・散歩・憩いの場所として多く人に利用されている。
- 松江しんじ湖温泉への宿泊客や、移動途中の観光客も足を止める等観光資源にもなっている。
- 水際の空間がたまり場となり、釣りや宍道湖の景観を楽しんでいる。



## 7 歴史を刻む暮らしの水辺

■キーワード：時代の変遷、水の都

【宍道湖大橋〜くにびき大橋】



城下町として、過去から人の暮らしの中心として、時代とともに発展してきた水辺。松江城や堀川といった歴史的建造物や、現代の商業施設に至るまで、様々な時代を想わせる建物や住宅などからなる市街地。

都市の中を貫流する大橋川の中で、最も都市的な景観を持つ場所でありながら、城下町の風情も残す。朝霧の中でのシジミ漁、朝日、夕日、夜景、柳並木と一体となった水辺となっており、松江城、堀川と遊覧船、遠くに望む大山とともに、松江観光の中心である。

### 土地利用

- 兩岸に、住宅・商業・業務施設が混在する市街地を形成。
- 水辺近くまで集落が立地している。
- 主に南岸は都市化が進み、北岸は伝統的な街並みや観光地が存在する。



### 景観

- 朝日、朝霧、柳並木、シジミ漁、夜景などいろいろな表情をもつ大橋川上流。
- 南岸は市街地を背景とした都市的景観。
- 北岸は老舗旅館が並ぶなど、落ち着いた佇まいを見せる。



### 自然

- 水際近くまで道路や建物があり、水辺空間を間近に感じることが出来る。



### 水辺の利用

- 国際文化観光都市である松江を訪れる人の多くが、この上流部を観光する。
- 松江城、堀川遊覧など観光資源も豊富

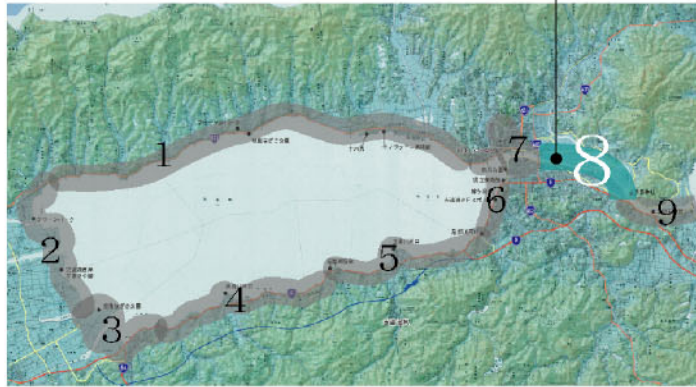




## 8 緑と碧が広がる水辺

■キーワード：水郷

【くにびき大橋～多賀神社付近】



くにびき大橋より下流の田園地帯は、都市の中でありながら、空間の広がりを感じさせる区間。

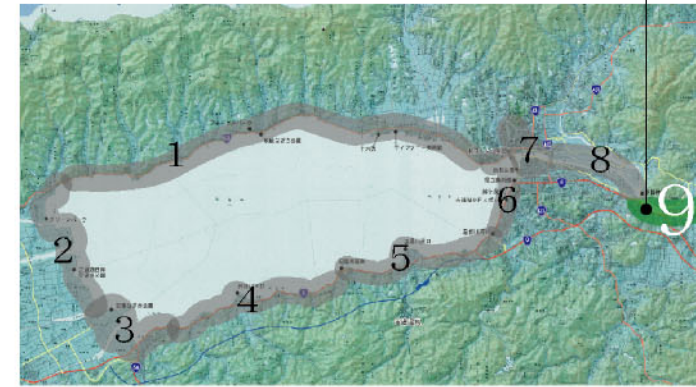
大橋川や剣先川、朝酌川といった河川、中州に広がる田園と水路網など、まとまった緑と碧の水郷のイメージを醸し出す。

多賀神社前付近で5つの河川が合流するまでの空間からは、のどかな田園風景の向こうに都市の景観が眺望できる。

## 9 古の流れを感じる水辺

■キーワード：悠久の流れ

【多賀神社付近～大橋川河口】



河岸と河川内には、多賀神社、矢田の渡し、塩楯島には手間天神社があり、近傍には石屋古墳があるなど大橋川沿いのこの水辺は出雲国風土記にも記されているほど歴史が古い。

昔の人々の暮らしの情景を彷彿させる古の流れを感じる水辺。

### 自然

- 農地、野鳥、植生、山林、空、水面など、自然の中に溶け込んでいる。
- ヨシが分布している。



### 水辺の利用

- 川沿いに走る道路を移動ルートとして利用している。
- 農業、漁業など生活の一部として利用している。

### 土地利用

- 中州や大橋川沿いに広がる農地と、背後の集落からなる田園地帯

### 景観

- 広大な農地が広がる自然豊かな景観。



### 自然

- 広い農地をえさ場とする水鳥や、自然河岸など、身近に自然を感じる水辺。
- ヨシが分布している。



### 水辺の利用

- 川沿いに走る道路を移動ルートとして利用している。
- 農業、漁業、住宅など生活の場として利用している。

### 土地利用

- 川沿いや、道路沿いに集落が立地。
- 大橋川河口付近の北岸にまとまった農地がみられる
- 出雲国風土記にも登場する歴史・文化が残る場所。

### 景観

- 昔ながらの集落が落ち着いた佇まいを感じる景観。
- 水際植生や、広大な農地など自然を感じる景観。
- 北岸からは、遠くに大山を望む。

